



## 2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月8日

上場会社名 株式会社 ヤマノホールディングス

上場取引所 東

コード番号 7571 URL <http://www.yamano-hd.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼最高経営責任者 (CEO) (氏名) 山野 義友

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員管理本部長 (氏名) 岡田 充弘

TEL 03-3376-7878

四半期報告書提出予定日 2019年11月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (2019年11月22日開催予定 機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	6,941	1.2	109	26.8	107	23.7	65	109.7
2019年3月期第2四半期	7,026	8.6	86	9.7	87	41.2	31	94.1

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 46百万円 ( %) 2019年3月期第2四半期 52百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	1.95	
2019年3月期第2四半期	0.92	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	6,860	1,442	21.0
2019年3月期	7,154	1,511	21.1

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 1,442百万円 2019年3月期 1,511百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		2.00	2.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,100	0.0	200	18.4	190	28.5	100	29.1	2.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	34,497,058 株	2019年3月期	34,497,058 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	956,869 株	2019年3月期	456,869 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	33,685,782 株	2019年3月期2Q	34,040,189 株

当社は「株式給付信託(BBT)」を導入しており、株主資本に自己株式として計上されている「株式給付信託(BBT)」に残存する自社の株式は、1株当たり当期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。また1株当たり純資産額の算定上、期末発行済株式総数から控除する自己株式に含めております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- ・当社は、決算補足説明資料を、この決算短信公表後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における国内経済は、企業収益の改善や雇用環境の改善を背景に景気は緩やかな回復基調が続きましたが、米中経済摩擦の影響等もあり、先行き不透明な状況で推移しました。

個人消費も持ち直しの動きがみられるものの、先行き不透明感による消費者の節約志向は依然として根強く、厳しい環境が続いております。

このような状況の下、当社グループでは「ソフトと価値の提供」によって既存顧客との信頼関係強化に努める一方で、新規顧客獲得をグループ共通の課題として取り組んでまいりました。

当第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高は、店舗数・拠点数減等による減収があったものの消費増税前の駆け込み需要もあり、69億41百万円（前年同期比1.2%減）となりました。利益面では、前第2四半期に子会社化した株式会社みうらの寄与もあり、営業利益は1億9百万円（前年同期比26.8%増）、経常利益は1億7百万円（前年同期比23.7%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益については65百万円（前年同期比109.7%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりです。

#### ・美容事業

美容事業においては、消費増税前の駆け込み需要はありましたが、既存美容事業での店舗数減少（前年同期比3店舗減）及び台風などの天候不順による客数減（前年同期比4.1%減）があり、売上高は9億72百万円（前年同期比1.0%減）となりました。利益面では、前第2四半期に子会社となった株式会社みうらが寄与したことに加え、賃料等の固定費や販促経費の削減に努めたこともあり、セグメント利益は22百万円（前年同期はセグメント損失9百万円）となり、黒字へ回復いたしました。

#### ・和装宝飾事業

和装宝飾事業においては、和装小売部門で1店舗の新規出店、5店舗の改装及び1店舗の閉鎖を行いました。和装小売部門の売上高は、当第2四半期に実施した合同展示販売会が好調に推移したことや受注商品の引渡しを促進したこと等により、前年同期比0.8%増と堅調に推移しました。また宝飾小売部では、1店舗の新規出店及び1店舗の閉鎖を行い、当第2四半期では消費増税前の駆け込み需要等もあり、売上高はほぼ前年同期並みとなりました。その結果、和装宝飾事業での売上高は52億12百万円（前年同期比0.7%増）となり、セグメント利益は1億30百万円（前年同期比10.8%増）となりました。

#### ・DSM事業

DSM事業においては、当第2四半期より事業の管理運営体制の大幅な見直しを実施し、収益の持ち直しが若干見られたものの、新規顧客の獲得や販売員補強は依然厳しい状況が続いております。また事業所数が前年同期比で8拠点減少した影響もあり、売上高は7億52百万円（前年同期比13.3%減）となり、セグメント損失15百万円（前年同期はセグメント利益0百万円）となりました。

#### ・その他の事業

その他の事業の収益は、株式会社ヤマノセイビングの前払い式特定取引業による手数料収益及び一般社団法人日本技術技能教育協会の着物着付教室の運営収益であり、売上高は4百万円（前年同期比359.0%増）、セグメント損失は4百万円（前年同期はセグメント損失4百万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて2億94百万円減少し68億60百万円となりました。これは主に、現金及び預金が4億81百万円減少、受取手形及び売掛金が1億81百万円増加、投資有価証券が29百万円減少、敷金及び保証金が23百万円減少したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べて2億24百万円減少し54億18百万円となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金が1億75百万円減少、電子記録債務が75百万円減少、前受金が2億92百万円減少、未払金が40百万円減少し、長期借入金が1億14百万円増加したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ69百万円減少し14億42百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益計上による利益剰余金65百万円の増加、剰余金の配当68百万円、自己株式の取得47百万円、その他有価証券評価差額金19百万円の減少によるものです。

### 第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、税金等調整前四半期純利益が1億円となり、前年同四半期連結会計期間末に比べ3億91百万円減少し14億46百万円となりました。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果支出した資金は、6億49百万円（前年同四半期は1億50百万円の支出）となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益1億円、集金保証型ショッピングクレジットの取扱い促進による売掛金の回収長期化影響があり売上債権が1億81百万円増加、前連結会計年度末が休日であった影響があり仕入債務が2億51百万円減少、和装宝飾事業において受注商品の引渡し促進を図った影響があり前受金が2億92百万円減少したことによるものです。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は9百万円（前年同四半期は19百万円の支出）となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出26百万円、有形固定資産の売却による収入12百万円、差入保証金の回収による収入26百万円があったことによるものです。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、1億78百万円（前年同四半期は84百万円の支出）となりました。

これは主に、集金保証型ショッピングクレジットでの売上債権回収の長期化に伴う運転資金及び事業拡大のためのM&A資金調達を行ったためであり、短期借入金の増加額2億10百万円、長期借入れによる収入2億円、長期借入金の返済による支出96百万円、配当金の支払額68百万円、自己株式の取得による支出47百万円によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月15日に公表いたしました2020年3月期の連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日（2019年11月8日）開示いたしました「2020年3月期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,416,632	1,935,550
受取手形及び売掛金	1,519,573	1,701,515
商品及び製品	1,309,830	1,343,904
原材料及び貯蔵品	-	7,128
その他	231,325	245,886
貸倒引当金	△17,694	△18,722
流動資産合計	5,459,666	5,215,263
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	958,598	920,146
減価償却累計額	△668,803	△621,467
建物及び構築物(純額)	289,794	298,678
工具、器具及び備品	209,934	215,098
減価償却累計額	△184,613	△184,413
工具、器具及び備品(純額)	25,320	30,685
土地	37,411	25,211
リース資産	47,186	68,755
減価償却累計額	△29,150	△29,078
リース資産(純額)	18,035	39,677
有形固定資産合計	370,563	394,252
無形固定資産		
のれん	117,486	90,252
その他	10,436	8,538
無形固定資産合計	127,923	98,791
投資その他の資産		
投資有価証券	244,296	214,919
長期貸付金	6,371	5,731
敷金及び保証金	901,643	878,402
繰延税金資産	15,859	25,162
その他	42,631	42,065
貸倒引当金	△14,467	△14,360
投資その他の資産合計	1,196,335	1,151,921
固定資産合計	1,694,821	1,644,965
資産合計	7,154,488	6,860,229

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,608,872	1,432,981
電子記録債務	289,002	213,892
短期借入金	280,000	490,000
1年内償還予定の社債	22,400	24,400
1年内返済予定の長期借入金	453,204	442,208
未払金	482,019	441,147
前受金	1,566,377	1,273,416
未払法人税等	26,248	32,632
賞与引当金	89,920	95,659
ポイント引当金	33,373	27,929
株主優待引当金	5,459	5,459
資産除去債務	11,596	2,208
その他	235,189	270,226
流動負債合計	5,103,662	4,752,160
固定負債		
社債	27,000	13,800
長期借入金	105,460	220,186
長期末払金	85,439	81,393
役員株式給付引当金	18,620	18,620
資産除去債務	260,476	265,186
繰延税金負債	6,083	7,175
その他	36,417	59,698
固定負債合計	539,498	666,060
負債合計	5,643,161	5,418,220
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	979	979
利益剰余金	1,435,749	1,433,170
自己株式	△53,988	△101,553
株主資本合計	1,482,741	1,432,596
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	28,585	9,412
その他の包括利益累計額合計	28,585	9,412
非支配株主持分	-	-
純資産合計	1,511,326	1,442,008
負債純資産合計	7,154,488	6,860,229

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	7,026,974	6,941,565
売上原価	3,364,377	3,296,282
売上総利益	3,662,596	3,645,282
販売費及び一般管理費	3,576,031	3,535,534
営業利益	86,565	109,748
営業外収益		
受取利息及び配当金	2,793	1,989
受取地代家賃	1,086	876
受取補償金	3,134	-
その他	3,186	2,759
営業外収益合計	10,200	5,624
営業外費用		
支払利息	3,908	4,083
障害者雇用納付金	1,800	2,300
その他	4,006	1,293
営業外費用合計	9,714	7,677
経常利益	87,051	107,695
特別利益		
固定資産売却益	-	300
特別利益合計	-	300
特別損失		
固定資産除却損	0	869
減損損失	2,871	1,170
固定資産撤去費用	-	4,665
店舗閉鎖損失	704	961
支払補償金	9,644	-
その他	650	-
特別損失合計	13,871	7,666
税金等調整前四半期純利益	73,180	100,329
法人税、住民税及び事業税	42,011	32,658
法人税等調整額	△217	1,841
法人税等合計	41,794	34,499
四半期純利益	31,385	65,829
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	31,385	65,829



## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	31,385	65,829
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△84,240	△19,173
その他の包括利益合計	△84,240	△19,173
四半期包括利益	△52,854	46,655
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△52,854	46,655
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	73,180	100,329
減価償却費	43,399	31,609
減損損失	2,871	1,170
のれん償却額	25,016	27,233
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△12,320	5,738
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△1,216	△5,444
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△482	920
受取利息及び受取配当金	△2,793	△1,989
支払利息	3,908	4,083
有形固定資産除却損	0	869
有形固定資産売却損益 (△は益)	-	△300
売上債権の増減額 (△は増加)	47,396	△181,942
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△11,750	△41,202
仕入債務の増減額 (△は減少)	31,630	△251,001
前受金の増減額 (△は減少)	△167,957	△292,960
その他	△103,257	△18,294
小計	△72,375	△621,179
利息及び配当金の受取額	2,794	1,989
利息の支払額	△3,912	△4,213
法人税等の支払額	△77,269	△26,273
営業活動によるキャッシュ・フロー	△150,762	△649,677
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△37,322	△26,192
有形固定資産の売却による収入	1,175	12,500
無形固定資産の取得による支出	△1,659	△550
投資有価証券の売却による収入	261	150
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△4,393	-
貸付金の回収による収入	749	720
敷金及び保証金の差入による支出	△1,394	△7,630
差入保証金の回収による収入	40,322	26,096
その他	△17,376	△14,555
投資活動によるキャッシュ・フロー	△19,636	△9,460

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	60,000	210,000
長期借入れによる収入	100,000	200,000
長期借入金の返済による支出	△111,407	△96,270
社債の償還による支出	△11,200	△11,200
自己株式の取得による支出	-	△47,565
配当金の支払額	△101,809	△68,444
その他	△20,429	△8,463
財務活動によるキャッシュ・フロー	△84,846	178,056
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△255,245	△481,081
現金及び現金同等物の期首残高	2,093,285	1,927,882
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,838,039	1,446,800

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

株主資本の金額の著しい変動

2019年5月15日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条第1項の規定に基づき、自己株式の取得を決議し、自己株式の取得を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が47,565千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が101,553千円となっております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			
	美容	和装宝飾	D S M	計
売上高				
外部顧客への売上高	981,776	5,176,109	868,092	7,025,978
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	981,776	5,176,109	868,092	7,025,978
セグメント利益又は損失(△)	△9,128	117,830	199	108,901

	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
売上高				
外部顧客への売上高	996	7,026,974	—	7,026,974
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,669	5,669	△5,669	—
計	6,665	7,032,644	△5,669	7,026,974
セグメント利益又は損失(△)	△4,591	104,310	△17,745	86,565

- (注) 1 その他には、報告セグメントに含まれない事業セグメントである金融事業等を含んでおります。  
 2 セグメント利益の調整額△17,745千円には、のれんの償却額△25,016千円、各報告セグメントに配分していない全社費用7,271千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。  
 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位:千円)

	美容	和装宝飾	D S M	その他	全社・消去	合計
減損損失	2,112	758	—	—	—	2,871

(のれんの金額の重要な変動)

当第2四半期連結累計期間において、有限会社みうらの株式を取得し当社の子会社としたことに伴い、「美容事業」セグメントにおいてのれんが44,336千円増加しております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			
	美容	和装宝飾	DSM	計
売上高				
外部顧客への売上高	972,030	5,212,327	752,635	6,936,992
セグメント間の内部売上高 又は振替高	21	—	240	261
計	972,051	5,212,327	752,875	6,937,253
セグメント利益又は損失(△)	22,504	130,497	△15,532	137,470

	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
売上高				
外部顧客への売上高	4,572	6,941,565	—	6,941,565
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,126	5,387	△5,387	—
計	9,699	6,946,952	△5,387	6,941,565
セグメント利益又は損失(△)	△4,306	133,163	△23,415	109,748

(注) 1 その他には、報告セグメントに含まれない事業セグメントである金融事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△23,415千円には、のれんの償却額△27,233千円、各報告セグメントに配分していない全社費用3,818千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位：千円)

	美容	和装宝飾	DSM	その他	全社・消去	合計
減損損失	—	1,170	—	—	—	1,170

## (重要な後発事象)

## 取得による企業結合

当社は、2019年8月21日開催の取締役会において、株式会社L. B. Gの株式を取得することを決議し、2019年10月1日付で取得いたしました。

## 株式会社L. B. Gの取得

## (1) 企業結合の概要

## ① 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 株式会社L. B. G  
事業の内容 美容室の経営

## ② 企業結合を行う主な理由

美容事業の業容拡大のため

## ③ 企業結合日

2019年10月1日

## ④ 企業結合の法的形式

対価を現金等の財産のみとする株式取得

## ⑤ 結合後企業の名称

株式会社L. B. G

## ⑥ 取得する議決権比率

52%

## ⑦ 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価とする株式取得により、株式会社L. B. G議決権の52%を取得したためであります。

## (2) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	104,000千円
取得原価		104,000

## (3) 主要な取得関連費用の内訳及び金額

アドバイザー等に対する報酬・手数料 26,000千円